



かみさと

議会だより

平成27年12月

No. 69

■発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429

三町獅子舞



■古くから龍福寺（明治43年吉祥院に合併）に伝わっていた獅子頭が、火災に遭い、男獅子二頭は焼失しましたが、女獅子だけは難を逃れました。この獅子頭は現存し、村人は「隠居獅子」と称し、雨乞いの時などに舞いだすと、必ず慈雨をもたらすと伝えられています。

東音頭



■1582年安土桃山時代に、神流川と烏川の一帯で織田信長の家臣 滝川一益勢と北条勢による戦いが行われ、双方に多くの戦死者がでました。この時の戦死者の霊を慰めるための音頭として作られたものです。



上里町マスコットキャラクター
こむぎっち

もくじ

9月定例会・10月臨時会の審議状況…	P 2～4
一般質問 ……………	P 5～12
委員会等のうごき ……………	P 13
12月定例会一般質問、議会日誌等…	P 14



再生紙を使用しております



9月定例会

9月3日～24日

■平成26年度一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算を認定

■コミュニティセンター設置及び管理条例の一部改正を可決

■いじめ問題対策連絡協議会等条例を可決

9月定例会は、9月3日に開会され、議員8名の一般質問と平成26年度決算認定を中心とする町長提出議案25件、議員提出議案1件、請願を審議して24日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

条例関係

- 上里町個人情報保護条例の一部を改正する条例について
 - ※審議結果 原案可決
- 行政手続における特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律の施行に伴うものです。
 - ※審議結果 原案可決
- 上里町税条例の一部を改正する条例について
 - 行政手続における特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律の施行に伴うものです。
 - ※審議結果 原案可決

- 行政手続における特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律の施行に伴うものです。
 - ※審議結果 原案可決
- 上里町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例について
 - 町が所有する財産のうち、行政財産について、第三者への貸付を行う際に貸付料に関し、普通財産と同様の無償貸付又は、減額貸付を行うものです。
 - ※審議結果 原案可決
- 上里町行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例について
 - 町が所有する行政財産

について、目的外使用の許可をした場合における月額使用料に関し、使用目的にあった使用区分並びに使用料算定基準を設けるものです。

※審議結果 原案可決

○上里町コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する等の条例について

○コミュニティセンター及び中央公民館の両施設の複合化に伴うものです。

※審議結果 原案可決

○上里町いじめ問題対策連絡協議会等条例について

○いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を効果的に推進するためです。

※審議結果 原案可決

その他

○財産の取得について

○上里ゴルフ場整備事業のためです。

※審議結果 原案可決

◎財産の取得について

◎農村公園の整備のためです。

※審議結果 原案可決

◎上里町道路線の認定について

◎新設予定道路及び開発行為に伴い、整備された道路について認定するものです。

※審議結果 原案可決

◎上里町議会会議規則の一部を改正する規則について

◎議会における欠席の届出の取り扱いに関し、出席の場合の欠席の届出を新たに規定するものです。

※審議結果 原案可決

人事関係

◎公平委員会委員の選任について

◎委員である赤見昭夫氏が、平成27年9月30日をもって任期満了となるため、後任に神保原町の岩田正勝氏を選任するものです。

※審議結果 同意

◎教育委員会委員の任命について

◎委員である安藤寛和氏が、平成27年9月30日をもって任期満了となるため、安藤氏を再任するものです。

※審議結果 同意

◎人権擁護委員の推薦について

◎委員である笠原洋子氏が、平成27年12月31日をもって任期満了となるため、笠原氏を再任するものです。

※審議結果 同意

補正予算関係

◎27年度一般会計補正予算

◎歳入歳出それぞれ3億1705万7千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ86億5179万5千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

企画振興事業	537万2千円	道路維持補修事業	665万6千円
コミュニティセンター運営事業	653万7千円	道路新設改良事業	1823万円
総合行政情報システム事業	600万6千円	教育委員会事務局運営事業	513万5千円
財政管理事業	8700万円	上里中学校改築事業	1234万1千円
財政調整基金積立金	1億円	庁舎管理事業	242万7千円
公共用地取得・管理事業	1億円	戸籍住民基本台帳事業	289万9千円
重度心身障害者医療費支給事業	641万円	国民健康保険特別会計繰出金	△8141万5千円

※審議結果 原案可決

この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

請願・陳情関係

審査結果

件名	提出者	審査結果
農協改革など「農業改革」に関する請願	埼玉県農民運動連合会 本庄・児玉センター会長 反町辰夫	不採択

10月臨時議会 10月23日

選挙

◎選挙管理委員会委員の選挙について

◎平成27年10月31日をもって、任期満了となる選挙管理委員の選挙を議会が行ったものです。選挙は、指名推選により議長が指名した4人が当選人と決定しました。

◎選挙管理委員会補充員の選挙について

◎平成27年10月31日をもって、任期満了となる選挙管理委員補充員の選挙を議会が行ったものです。選挙は、指名推選により議長が指名した4人が当選人と決定しました。

選挙管理委員会委員		選挙管理委員会補充員	
大澤 敏雄	大字金久保	岩田 常治	大字金久保
岡田 仁男	大字帯刀	入 秀人	大字五明
宮崎 光伸	大字七本木	高橋 紘一	大字七本木
齋藤 常雄	大字忍保	鈴木 光雄	大字神保原町

決算認定関係

■平成 26 年度の決算額等については、広報かみさと 10 月号に詳しく紹介してありますので省略し、監査委員が議会で報告した「監査意見書」の中の審査の結果及び意見の概要をお知らせします。

監査委員の「審査の結果及び意見」（抜粋）

審査に付された決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数も関係帳簿等と照合した結果、適切であると認められた。

◎一般会計・特別会計歳入歳出決算

一般会計における歳入歳出決算の状況は、前年度に比べ歳入で 7 億 7,996 万 6,251 円の減額、歳出で 7 億 5,301 万 5,743 円の減額となっている。

歳入の中心的な役割を果たしている町税については、たばこ税の減額がみられたものの、町民税や固定資産税の増額から、全体としては前年度に比べ 3,401 万 568 円、率にして 0.89% の増額となっており、これを受けて今年度の自主財源構成比率は前年度に比べ 3.4% 増加の 53.1% となっている。

この結果、町の財政指標である経常収支比率は、前年度より 2.3% 減少の 79.9% となっているが、景気全体の足取りは重く、本格的な景気回復には、いま暫く時間がかかりそうな状況にあるため、町の財政状況は依然厳しい状況にある。

町では、町税滞納整理特別対策事業を積極的に行い、口座振替やコンビニ収納についても利用率が上がっており、納税の機会や利便性向上に尽力されているが、町税・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料・保育料・町営住宅使用料・住宅資金貸付金等の収入未済額が、6 億 8,702 万 6,337 円にのぼっており、これらの減少に更なる努力を傾注していただくことを要望する。

また、不納欠損額も、前年度に比べ 82.2% 増の 1 億 269 万 255 円にのぼっており、住民の公平性の観点からみると、注視しなければならない点である。

平成 26 年度も引き続き、職員数の抑制、特別職の給与の削減や事業見直しなどによる行財政対策の実施により、歳出の抑制と削減を図ってきてはいるが、今後は地方債の償還の増加に伴う償還財源の確保や、諸経費のより一層の削減とともに、行政の簡素化や効率化に努め、施策の重要度及び緊急度を的確に把握し、計画的な行財政運営によって、健全財政の維持を図り、町民の福祉の向上に努められるよう望むものである。

なお、ここ数年団塊世代の退職により、職員数の減少と世代交代の過渡期にあることに鑑み、住民サービスに低下をきたさないよう、計画的な職員採用や再任用制度（再雇用）の確立をお願いするとともに、管理職の育成等、組織運営についても配慮方、併せてお願いする。

◎水道事業決算

事業決算としては、事業収益が 5 億 7,637 万 4,172 円に対し、事業費用は 4 億 8,936 万 8,227 円となっている。

当該事業年度は前年度に引き続き水道料金の改定等により純利益を生じたが、配水管の布設替え、石綿セメント管の更新事業、また、企業債の償還も多額であることから、経営環境は依然厳しいものと推察される。については、住民福祉の面から安定供給の確保や給水サービスの向上を図りながら、維持管理費の節減に努めるとともに、特に有収率については年々低下しており、その原因究明対策や水道料金の未収金の解消に特段の努力を要望する。

◎下水道事業決算

事業決算としては、事業収益が 2 億 1,410 万 8,382 円に対し、事業費用は 2 億 1,621 万 1,525 円となっている。

当該事業年度から地方公営企業法を適用し、水道事業と組織の統合を行い、上下水道課として効率的な事業運営に努めているが、下水道普及状況は接続率において 39.4% であり、更に企業等からの排出量が減少するなど、経営状況は厳しいものとなっている。については、供給開始区域内の接続率の向上を図るため、供用開始後 3 年以内の未接続世帯への個別訪問や下水道接続相談会の開催など未接続世帯への対策に、特段の努力を要望する。

一般質問



議席番号
3番 仲井 静子

問

最初からできるだけ多くの人が利用可能なユニバーサル・デザインの導入を

答

上里町において、全ての方が安全で円滑に利用できる住みよい町づくりを目指し、ユニバーサル・デザインを積極的に導入していく

1 ユニバーサル・デザインの視点を

(問)平均寿命が90歳を超えるだろうと言われる今日、加齢による弱視という人も増えてきます。情報を発信する側がこういう問題を想定して、健常者も高齢者も弱視者も含めた対策を今から考えていただきたい。

(答)ユニバーサル・デザインとは、障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすいよう生活環境をデザインする考えです。見やすさを考えると、デザインや色使い、文字のサイズも含めユニバーサル・デザインに取り組んでいかなければならないと考えています。今後は、さらに読みやすい広報誌をつくる研究や努力をし、皆様に読んでいただける広報誌づくり

に取り組んでいきたい。

(問)ユニバーサル・デザインフォントで広報誌を作成する費用は、今と同じ印刷会社で確認済みです。見やすい、すっきりとしたフォントで作っていただきたい。

(答)見やすさを考えると、ユニバーサル・デザインを使用した広報誌のほうが非常に読みやすい、今後さらに読みやすい広報誌を作成するために、費用が同額ならば是非取り入れていきたい。

(問)県では、平成7年「埼玉県福祉のまちづくり条例」を定め、誰でも利用しやすい施設の整備促進など、全ての県民が安心して生活し、等しく社会参加することができる、豊かで住みよい地域社会の実現を目指している。生活者側から身の回りを見渡して見ると、

安全や公平性、快適性など暮らしの中でいろいろな不便を感じるものがあ、見直しする余地が多あるのでは。

(答)ユニバーサル・デザインとは、「多くの方に使いやすなものをつくる」が思想とされ、上里町でもこの思想を踏まえ、公共施設を全ての方が安全かつ円滑に利用できるよう、今後新設する公共施設にユニバーサル・デザインを積極的に導入していきたい。

(問)上里町新コミュニティバス運行は、ノンステップバスの導入を。

(答)車両価格を考慮し、福祉仕様の車両を導入、車椅子に乗ったまま乗降可能なリフト、乗降を助けるステップや手すり等設置、全ての人が配慮した車両で、より多くの町

民の皆様にご利用していただきたい。

2 災害対策について

(問)防災対策に女性の視点を、地方創生の鍵はいかに女性を起用できるか。福祉、医療、環境、教育、健康など生活に密着した分野で女性の能力と知識、経験を活用して女性の意見が反映できる仕組みを。

(答)防災計画の見直しは、女性の意見を取り入れることは大変重要。女性の視点が生かせるよう、様々な意見をいただきながら検討していく。

(問)自然災害に対する町の備えについて。

(答)町が取り組むこと、地域が取り組むことについて、役割分担しながら連携をとって

災害時に迅速に対応できるように努めていきたい。また、自主防衛組織の育成は、大変重要で現在の町の状況は、各地区の区長、自衛消防団が中心で火災予防中心として活動、そこをさらに広げ、災害時に対応した自主防衛組織の充実、組織の見直しに取り組んでいかなければならないと考える。



防災フェスティバル

一般質問



議席番号
4 番 猪岡 壽

問 神保原駅北口の開発について

答 地域の活性化が図れるようであれば、検討したい

1 高崎線北側の開発について

(問)現在の神保原北口周辺は、道路幅が狭く、空き家や空地が増加している。

また、国道17号線に抜けるにはクランク交差点があり、小学校児童の通学路であり、改善する考えは。

(答)駅周辺の整備は、町づくりの根本的な課題であり、平成9年に駅前通り活性化計画を策定したが実現していない。今後は、町民が駅周辺の現状にどのような意見を持っているか、アンケート調査し意見を収集し検討する。

(問)市街地の空洞化は、全国的な大きな問題だが、富山市では市街地に移住した住民

に補助金を支給し空洞化を防止していると聞いたが、町の考えは。

(答)市街地への移住費用の補助などは有効であるが、所有者との協議など課題がある。

(問)現在5つの小学校の児童数に相当な格差が生じている。一番少ない賀美小は208名、一番多い東小は680名で、3.2倍の差がある。さらに、今年の入学生は、賀美小28名に対し、東小119名で格差はさらに広がっている。高齢化率も賀美地区と神保原地区が高い状態にある。人口の減少度も賀美地区と神保原地区が高い。以上のことから、北部の賀美地区と神保原地区が高齢化と人口減少が進んでいる。町の考えは。

(答)学校教育法施行規則第41条で小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とし、地域の実態により特別の事情があるときは、この限りではないとあり、統廃合の根拠は全校で、6学級未満で通学距離が4km以内の小学校とされており、町内5小学校は、しばらくの間は適正規模の学校として維持できる。

(問)北部の人口増加のため県に相談し、八町河原の公共下水処理場跡地を分譲住宅地にするのは如何か。

(答)質問の土地は公共下水用地として転用したが、処理場建設に莫大な費用が掛かるため、流域下水に変更し青地に戻した経緯があり難しい。



神保原駅北口

2 公民館活動推進員について

(問)現在50名の公民館推進員と公民館友の会会員が公民館事業の主な協力者だが、現在、友の会会員は何名いるのか。また、推進員と友の会の連携はどのようになって

いるのか。推進員には、年間2万6千円の報酬が付与されているが、定数削減または報酬の減額について伺いたい。

(答)まず、友の会会員は現在4館合計で1429人いる。推進員との連携は、公民館まつりなど大きな行事において連携協力している。推進員は年間9回程度会議や事業に出席していて、事業を推進する上で削減や減額は難しい。

(問)公民館事務所で購読している新聞を利用者が読みやすいようにすべきだが。

(答)地域住民のため、利用者のための新聞であり、読みやすい態勢にしたい。現在は全館で利用者の見える所に置いてある。

一般質問



議席番号 11番 沓澤 幸子

問 町立保育園の役割があるのでは

答 住み続けたい条件に子育て支援の要素は認識！

1 公共施設について

(問) 国は、各自治体に対し2016年度までに「公共施設などの総合管理計画策定」を求めています。公共施設は大事な住民サービスの館であり、見直しには住民の合意形成が大事です。「公共施設白書及び公共施設アセットマネジメント計画」の住民説明会の開催計画は。

(答) 東洋大学の「公共施設アセットマネジメント実施計画原案策定業務報告書」を吟味し、今後各施設の個別計画策定に際し、住民への情報提供、合意形成に向け実施時期や方法を議論しています。

(問) 「上里町子ども子育て支援事業計画」では、保育確保量を580人から2016年には745人に増加する計画です。この量に公立保育所

2か所は含まれるのか。少子化問題の克服には子育てしやすい環境が重要です。病児保育の実施など子育ての核として公立保育所の役割があるのでは。

(答) 現在開園を目指している民間保育園3園、230人定員が実現すれば、公立は1園と考える。進捗状況を見ながら、町立プレハブ園舎のリース延長も



町立保育園プレハブ園舎

しながら町立の規模役割を検討する。プロジェクトの中で言われているが、1か所と決まったわけではない。住み続けたい条件に子育て支援の要素が大きいことは認識している。

2 国の交付金の活用計画について

(問) 国は、2015年度から5年間の人口減少対策や達成目標の「総合戦略」策定を努力義務としました。子育てしやすい環境と負担軽減の実現は重要です。少子化問題が解決しないのは「少子化支援」の掛け声ばかりで若い世代の声に聴いていないからです。保育料・医療費・給食費を含む教育費などを最低高校卒業まで無料とし、若者が正規雇用で働ける社会にする等が必要で、今真剣に取り組まなければ、人口減少は止められ

ません。国の制度として求めることも含め、真剣な子育て対策が急務です。若い世代を含む住民の意見をどのように取り入れるのか。

(答) 結婚・出産・育児の希望をかなえ、子育てしやすい町を実現することが町の活性化につながるかと考え、効果的で魅力ある27年度総合戦略策定に取り組みたい。

(問) 農用地、水路、農道等の保全管理の共同活動の困難に対し「多面的機能支払交付金」が交付され、町は農業用水路の浚渫を行うようですが、あわせて地域住民が行っている水路の維持管理作業の負担軽減を図るために、5カ年の多面的交付金を活用し計画的なグラウンドカバーの実現を。

(答) 平成17年に本庄農林振興センターの指導、その後国の補助事業で、グラウンドカバー

3 介護保険について

プランツを植栽したが、成果には至らなかった。しかし、草刈りや泥上げ作業の負担軽減に有効と考えるので、今後も研究を行っていきたい。

(問) 第6期の制度改正で、介護保険から外され、自治体の責任とされた要支援者及び二次予防事業対象者の新しい総合事業について、町は来年の4月から移行する計画ですが、準備状況は。

(答) 現行の訪問型サービス・通所型サービスは、要支援1・2の284人。うち緩和した基準に移行していく利用者は1〜2割と推計している。緩和した基準を提供する事業者は、訪問型1事業所、通所型2事業所です。サービス利用料金については、近隣市町と研究・協議中です。

一般質問



議席番号
10番 新井 實

問 地域創生における地域の視点について

答 上里町総合戦略を平成27年度中に策定

1 地域創生における地域の視点について

(問) 地方創生における長期ビジョンと総合戦略のあり方について。

(答) 町では、急激に進む人口減少と高齢化という大きな課題に的確に対応するために、上里町総合戦略を平成27年度中に策定いたします。

上里町総合戦略では、雇用の流れ、子育て、地域づくりを基本目標として、基本目標ごとに具体的な施策を盛り込むとともに、これらを客観的に検証・改善するための重要な業績評価指数を設定いたします。

2 自治体「18歳選挙法」の対応について

(問) 選挙権年齢を18歳以上に引き下げる、改正公職選挙法の成立を背景に首都圏の自治体で小・中・高に対する政治教育が活発化してきたことについて。

(答) 公職選挙法の改正については、今年の6月国会で成立し、1年後に施行されます。施行後初めて公示される国政選挙から適用するため、来年夏の参議院選挙から18歳以上が投票できるようになります。ご指摘の小中学生の主権者教育ですが、埼玉県では、明確い選挙推進事業を展開しており、その中で選挙啓発出前講座を実施しております。

また、ポスターコンクールや小中学生向け啓発リーフレットを作成しており、今年度も来年3月に配布する予定です。

3 自転車事故対策について

(問) 今年6月1日から施行された改正道路交通法(道交法)における自転車での危険行為を繰り返した運転者に対する講習が義務づけられたことについて。

(答) 上里町としては、自転車運転に関する規則やマナーについて、本庄警察署や学校教育部局と連携し、広く啓発・広報していくことで、交通事故件数の削減、撲滅を目指してまいります。

4 神保原駅北の道路整備について

(問) 高崎線の北側で本庄市下野堂地区のJＲ変電所の北側を通過して、本庄市から五丁目まで伸びてきて、五丁目止まって

いる町道108号線を神保原駅北のロータリーまで延伸させる計画について。

(答) 町では、今年度、都市計画マスタープランの見直しに着手し、土地利用、道路、その他、都市基盤の整備について一体的な町づくりの方向性を検討していくこととしておりますので、当路線のあり方もその



町道108号線(五丁目地内)

議論の過程で整備し、安全・安心で快適に暮らせる駅周辺の町づくりを目指してまいりますと考えております。

5 学校のいじめ問題について

(問) 岩手県矢巾町で7月5日、いじめ被害を訴えていた中学2年生の男子生徒が電車で飛び込んで死亡した問題で、なぜSOSは届かなかったかについて。

(答) 町では、上里町いじめ防止基本方針を定め、今議会にいじめ防止対策推進法の規定に基づく、上里町いじめ問題対策連絡協議会等条例を提案し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を効果的に推進していきたいと考えております。

一般質問



議席番号
14番 植原 育雄

問 上里町の交通安全対策について

答

安全かつ円滑に上里スマートインターチェンジが開通できると、今後とも取り組んで参ります

1 上里町の交通安全対策について

(問)上里スマートインターチェンジ供用開始に伴い利便性は良くなりますが、交通事故が増えるのではないかと心配です。交通安全対策について。

(答)地元区長の皆様からあった生活道路での安全対策等の要望への対応を進め、安全かつ円滑に上里スマートインターチェンジが開通できるよう、今後とも取り組んで参ります。

(問)ウニクス上里店及びび下久城方面から県道藤岡・本庄線への出入口の交通安全対策について。

(答)平成26年3月及び平成27年3月に本庄警察署

長に改めて、信号機設置を要望し、現在も継続協議をしております。

(問)古新田・四ッ谷線の四ッ谷のT字路から本庄方面に向かつて約400m走ると30kmの制限標識があり、その先約50mで歩道がなくなり、この道路の交通安全対策について。

(答)県公安委員会で古新田交差点から県道上里鬼石線との交差点までを速度規制50kmとし、大型進入禁止の廃止が決定されたとの事です。残る未整備箇所についても努力して参ります。

2 ボランティア活動(貯金)について

(問)若い時にボランティア活動(貯金)をしておいて、将来、必要な時にボランティアを受けられる制度について。

(答)かみさと高齢者等支援会がサービスマスター事業を含めた今後の地域共助の仕組みづくりにおいて、導入の可能性等を研究して参ります。

3 上里町の公民館について

(問)生涯学習の拠点としての公民館の在り方について。

(答)町長)住民の皆様への学習への要求や学習への

参加者が増えており生涯学習の拠点である公民館を充実させなくてはならないと考えています。

(答)教育長)地区公民館は地域に根差し、地域の特徴を生かした事業展開を、中央公民館は、全町民対象の事業を実施すると共に、町づくり、地域づくりの人材育成を中心とした事業を考えています。

(問)公民館職員の充実及び公民館長の管理責任について。

(答)町長)限られた職員で対処しなくてはならないのが現状であり、御理解を頂きたい。

公民館長の管理責任については、責任の所在を明確にしておくことは不可

欠です。

(答)教育長)状況を調査し、結果によっては職員配置につき長部局と協議して参ります。

公民館長の管理責任については、公民館経営の終局の責任者であり、企画実施の直接的な責任者です。



中央公民館

一般質問



議席番号
9 番 納谷 克俊

問 下水道事業計画の大幅な見直しを

答 財政状況や人口推計を考慮し計画策定を進める

1 下水道事業について

(問) 公共下水道全体計画見直し認可変更図書作成業務が業務委託されていますが、財政状況や人口推計等を考慮すると下水道全体計画は大幅に縮小する方向の見直しが不可欠であると思います。

見直しについて生活排水処理基本計画等との整合性については、どのように検討されているのか。

(答) 全体計画の見直し案については、縮小に向け流域下水道などの上位機関と十分な協議、調整を行いながら将来の財政状況、人口推計を十分に考慮して策定を進めています。

生活排水処理基本計画と公共下水道計画との相違については現在、下水道区域

と浄化槽区域の調整がとれていない状況です。県水環境課と協議しており中間目標年度である平成32年度に見直しを行ない調整したいと考えています。

(問) 下水道事業推進において費用対効果の検討は重要ですが、下水道事業経営においては供用開始区域内における接続率のアップが欠かせません。

接続戸数、接続率はどの様になっていくのでしょうか。また、接続への障害要因についてはどのように分析されているのか。

(答) 平成27年7月末の加入戸数は735世帯、接続率は39・6%です。

広報による啓発活動や個別訪問を行ったり、負担と

考えられる工事費や受益者負担金について、接続補助金や負担金猶予などを積極的に利用していただけるよう制度の活用説明を行い、接続促進を図っていきます。

未加入については、高齢者の一人住まいや合併浄化槽の普及が大きな要因ではないかと考えています。



2 道路政策について

(問) 都市計画道路見直し検討業務を行っています。業務や人口推計、将来交通量、周辺土地利用状況等を考慮すると都市計画道路の大幅見直しは不可欠であると思います。計画の内容及び進捗状況はどのようになっているのか。

(答) 町の都市計画道路は当初決定してから40年以上が経過し、全延長の約54%が未整備のまま残っています。県の長期未整備都市計画道路の見直しガイドラインに基づき上里町中央通り線の全線廃止、古新田四ツ谷線の神保原駅南大通り線以西の廃止、三田久保原線の町道神保原堤線以西の廃止を平成26年3月、見直し候補路線に選定しました。

昨年度には、見直し候補路線の影響を調査するため交通量推計を実施し、今年度は都市計画道路見直し検討業務として区間廃止した場合の接続道路との取り合いや交差点処理などの検討を進めています。

(問) 国道17号本庄道路の進捗状況について。

(答) 今年度は橋脚を4基、建設予定です。また、国道462号線から本庄市都島までの1・1kmについて、用地買収に着手するということがあります。

大宮国道事務所から神流川橋及び連絡道路の完成までの明確なタイムスケジュールは示されていませんが、私からも常々、早期完成に向けてお願いしています。

一般質問



議席番号
1 番 飯塚 賢治

問 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることについては

答 効果のある事業の可能性を探ってまいりたい

1 地方版総合戦略の具体的な施策について

(問)若い世代の定住化は、必須の基本目標である。それには、若い人たちが働ける雇用の創出が何より重要と考えるが。また、なかでも農業に従事する若い人を育てることについての方針は。

(答)上里サービスエリア下り線産業団地への企業誘致や正規雇用の促進、就業支援や創業支援といった施策を取り入れた上で「安定した雇用の創出」に努める。新規に農業に就労する経営指標は、年間農業所得、年間労働時間は、他産業従事者並みの水準を実現できるため、新たに農業経営をする青年を確保して、地域の総力を挙げて中心的な経営体にて育成してまいりたい。

(問)若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることについて。

(答)「上里町づくりアンケート調査」を基に「出産・子育て奨励政策を検討し、出産・子育てを希望する方々を後押ししなければ、少子化問題の改善は難しい。総合戦略の国交付金の動向を注視し、活用できる財源を見つけないが、効果のある事業の可能性を探ってまいりたい。

(問)若年層の安定的な昇給や非正規労働者の正社員化などを考える、わが町の地方版政労使会議の設置について。

(答)「地方版政労使会議」とは異なるが、「上里町地方創生推進審議会」をもって、住民と産官学労各界からの多面的な意見を入れ、地域経

済の好循環実現を図る具体的な施策を総合戦略に盛り込んでまいりたい。



2 教師の希望する研修の充実について

(問)心理的負担が多い昨今、カウンセリングを希望する先生には、気軽に受けられるよう、ま

た、若い先生方が希望する研修は、極力受けられるようご配慮願いたい。

(答)1年目の教師の研修では、研修日数が多いため、出張クラスを担当する職員を配置し、研修を受けやすくしている。また、学校現場は、様々な問題を抱えており、心理的負担から病気休職になる教師が増えてきている。日頃より、教師の学校での勤務状況を積極的に把握し、相談体制や医療機関受診などの支援体制の整備を検討してまいりたい。

3 中学生議会の開催について

(問)中学生に質問や提案を行う経験をさせてあげたいが。
(答)中学生にとっては、貴重

な経験となる、とてもよい機会であるが、現状では、教育課程の上での時間確保や生徒への指導などにおいて課題がある。今後は、現在行われている意見発表会形式による開催なども含め、町と中学校、教育委員会で研究してまいりたい。

4 ロタウィルスワクチンの一部公費助成について

(問)ロタウィルスワクチンの一部公費助成をして、少しでも負担軽減させたいが。

(答)「ロタウィルスワクチンを希望する子育て世代の支援のための助成の取り組み」については、国の動向を注視しながら、今後の検討とさせていただきます。

一般質問



議席番号
2 番 戸矢 隆光

問 子どもたちの意見について

答 各課で共有し、産業振興や住民協働の町づくりに反映したい

1 自転車における道路交通法の改正について

(問) 刑事罰は14歳以上が対象、6月1日以降の各小中学校では、どのような取り組みを行っているか、自転車保険の必要性は。

(答) 各小中学校では信号無視や一時停止などの危険行為などについて、全校集会や各教室などで指導を行うとともに、一斉下校時などを設け危険行為の場所などに教員が立会い乗り方の指導を行う。自転車保険の重要性や加入促進については、学校部局や警察署と連携し住民の周知を積極的に取り組みたい。

2 子どもたちの意見について



(問) 明るいまちづくりの意見発表会などの意見を分析し、町の事業に反映できないか。広報誌を通じ、伝えることが出来ないか。

(答) 児童の皆さんの意見は今後の町政運営に生かして生きたい。各課で共有し事業の立案の際の参考にするとともに、現在策定中の平成29年度から計画期間が始まる「第五次総合振興計画」の産業振興や住民協働の町づくりの分野において反映できるように努めたい。広報については、広報紙の掲載やフェイスブックへの投稿

(問) 明るいまちづくりの意見発表会などの意見を分析し、町の事業に反映できないか。広報誌を通じ、伝えることが出来ないか。

3 高齢者対策について

(問) 体の好不調や生活の様子などコミュニケーションが取れないひとり高齢者世帯の宅配などによる安否確認について。

(答) 近隣の自治体でも導入をして安否確認など行っていたが、事業所の人員の確保や安否確認の対応時による課題も生じて見直しも行ったようでありますが、全国的には実施をしている自治体も複数あり、高齢者の見守りとしての役割を担っているため、導入に向けて研究をしたい。今後高齢者の増加が見込まれる

ことから、地域のつながりとなる自助、見守り、支えあい活動である互助などの「地域づくりによる高齢者の見守り活動」を今後も推進していきたい。

4 28年度新規予算について

(問) シルバーカーについては、高齢者の方が家の中から外に歩行をするときに押しながら歩く際の補助的なものであり、家に引きこもりがちなる外出対策の一環として購入時の補助金を。

(答) シルバーカーについては、自立歩行が可能で高齢者が外出の際の歩行時や買い物の際の品物の運搬及び休息に用いる四輪以上の歩行補助者と定められている。要支援・要介護者は、歩

行関連の歩行器が貸与され利用されている場合が多く、町の要支援・要介護の認定を受けた人や福祉用具を貸与された人の中で歩行器の使用率は35パーセントと3人に1人は利用をしているが、認定に該当しない方は、介護事業者や大型店などから購入している。上里町社会福祉協議会では、貸し出しを期間限定で行っている。シルバーカーにより外出されることは、認知症の予防や筋力アップなど介護予防に効果があるといわれており、シルバーカーを日常的に必要な方も多く期間が限定される貸与では難しい場合も考えられ、家に引きこもらず外出するきっかけづくりに有効と考え、今後研究をしていきたい。

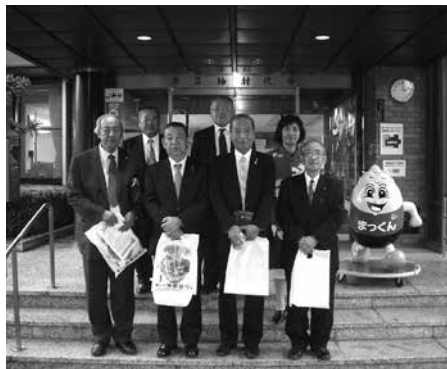
文教厚生常任委員会 視察研修

文教厚生常任委員会では、11月9日、10日の2日間、長野県南箕輪村と松本市への視察研修を実施しました。

南箕輪村では、女性の社会進出は労働人口の増加という点でも重要であるため、女性が結婚・出産しても安心して働ける土台づくりとして、平成17年に子育て支援センターを設置し、平成22年度は、子育て教育支援相談室に臨床心理士を採用しました。村では、公立保育園5園を運営し未満児の入園が増加しているため、施設の増築や保育士の増員で対応しているとのことでした。また、人口15000人の村ですが、自然豊かな山々に囲まれ住民同士の憩いの場として公園や温泉施設が整備され、子どもからお年寄りまで住みやすい環境を村が提供しており、出合ったお年寄りの表情は明るくいきいきとしていました。

松本市では、今から8年前に健康寿命延伸都市宣言をし、生活習慣の改善として「減塩運動」を開始しました。特徴的な事業の一つとして、市が平成13年から小学校4

年生と中学校2年生全員に血液検査を実施しております。これは、子どもの生活習慣病が将来の健康づくりの基礎となるため、費用は全額負担して行いました。今回の研修で得た経験を今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。



総務経済常任委員会 視察研修

11月5日、6日の2日間、吉見町の「水路維持管理事業」、藤沢市の「農産物直売事業」、日野市の「ごみ減量化事業」の視察研修を行いました。

吉見町の「水路維持管理事業」については、平成15年から水路法面にティフ・ブレア植栽を毎年継続して実施し、その効果が地域に認められ、また地域の区長の協力を得て非農家の方に環境を守るための理解を得て、排水路の維持管理を行っていると説明を受けた後、「ヒメイワダレ草」の現地

を視察しました。

次に、藤沢市の農産物直売所「わいわい市」を視察しました。坪当たりの売上が日本一になった直売所だけあって、平日の午後であったが店内には品数も多くあり客数も多かった。平成26年度の売上は10億3000万円、利用客数53万8570人、一日平均1540人の来店客があり、今年度は売上も来店客も増えているとのことでした。

日野市の「ごみ減量化事業」については、かつて多摩地区において不燃ごみ量、リサイクル率がワーストワン、最終処分場への搬入量が超過し追徴金の支払が発生していたため、環境にやさしい



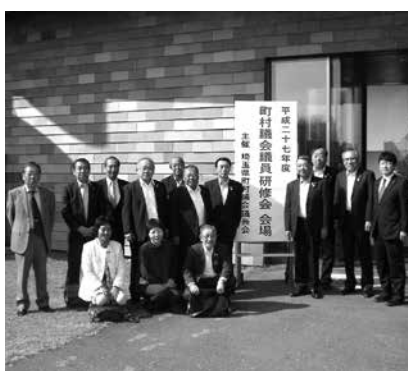
まち「ひの」を目指しました。ごみ収集方式を原則個別収集方式に変え、排出者責任を明確化し減量化の啓発活動も活発に行なった結果、ごみ収集量が半減し、資源物量全体でも31%減らすことができたとのことでした。

埼玉県町村議会 議員研修

10月20日、吉見町において農学博士小泉武雄先生をお迎えし『いのちをはぐくむ農と食』という演題で講演をして頂いた。日本の農業を危惧する理由は、食料自給率が、四十%を切り弱体化が進んでいること。今後TPPで「海外から農産物の輸入が促進すれば、日本の食が危機に晒されること」、米沢藩主

の上杉鷹山は、藩の財政破綻から立ち直るため、桑を植え、生糸の生産や絹織物、そして藩土に農地を開墾させるなど、当時、葉草とされたウコギ『五加木』を庭や生垣として植えさせ、更に染料として利用されているベニバナの奨励など、多岐にわたる改革で、財政回復させた事実を基に、日本の農業の自給率を高めることの必要性を話された。また、日本人の食の乱れが寿命を短くしている。沖縄の昭

和六十年代の平均寿命は一位であったが、今は三十位。その要因は戦後、アメリカ本土と同じ価格で肉を手ででき、若者の食生活が変わったこと、それとは逆に一位に上がった長野県、塩分を控え野菜を中心とした生活(根菜、菜、青菜、山菜や茸、昆布、海藻)、大豆、米、麦、蕎麦の穀類であったこと。江戸時代は、豆腐、納豆、味噌汁など、現在の食物と比べても引けを取らない栄養価を保っていたことをあげ、世



界文化遺産の和食を大切に生活することを広めてほしいと話された。

議会日誌

9 月

- 1 日 関東大震災朝鮮人犠牲者慰霊祭
- 3 日 定例会初日(開会、町長の行政報告、一般質問)
- 4 日 一般質問
- 7 日 全員協議会
- 7 日 議案審議(条例、補正予算等)
- 8 日 議案審議(決算総括説明、意見書報告、委員会付託)
- 9 日 常任委員会(26年度決算審査)
- 10日 常任委員会(26年度決算審査)
- 11日 常任委員会(26年度決算審査)
- 14日 常任委員会(26年度決算審査)
- 15日 常任委員会(26年度決算審査)
- 17日 常任委員会(26年度決算審査、請願審査)
- 17日 全員協議会
- 19日 上里中学校運動会
- 24日 定例会最終日(常任委員長決算審査報告・採決、請願等審議)
- 27日 各小学校運動会
- 28日 上里北中学校運動会
- 29日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

10 月

- 4 日 公民館・児童館まつり
- 11日 町民体育祭
- 13日 本庄上里学校給食組合議会
- 18日 公民館・児童館まつり
- 20日 埼玉県町村議会議員研修会
- 20日 議会だより編集委員会
- 23日 臨時会
- 23日 全員協議会
- 31日 神川町合併 10 周年記念式典

11 月

- 1 日 ふれあいまつり
- 3 日 表彰式典
- 5 日 総務経済常任委員会視察研修(～6日)
- 9 日 文教厚生常任委員会視察研修(～10日)
- 16日 郡議会議長会視察研修(～17日)
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 議会運営委員会
- 20日 本庄道路建設促進要望活動
- 21日 本庄市合併 10 周年記念式典
- 22日 消防団(署) 特別点検
- 24日 議会懇話会
- 25日 議会運営委員会視察研修会(～26日)

平成27年第6回(12月)定例会一般質問一覧

通告	議席番号	氏名	質問の要旨
4日(金)	1 5番	齊藤 崇	1 各地で多発している自然災害について 2 町営住宅の今後について
	2 3番	仲井 静子	1 地域の実情に応じた効果的・効率的な健康寿命延伸の取り組みについて 2 人口減少社会の少子化対策について
	3 6番	岩田 智教	1 本庄道路について 2 インフルエンザの流行と対策について
	4 4番	猪岡 壽	1 空き家対策について 2 全国学力テストの結果について
8日(火)	5 2番	戸矢 隆光	1 平成28年度事業について
	6 11番	沓澤 幸子	1 ゴミ問題について 2 国民健康保険について 3 マイナンバー制度について
	7 1番	飯塚 賢治	1 若者をはじめとする有権者の投票率向上の取り組みについて 2 自治体における子育て応援アプリの推進について 3 「障害者差別解消法」の施行に向けた取り組みについて
	8 10番	新井 實	1 上下水道の管理と運営について
			2 会計検査院調査について
3 熊谷殺害事件の注意喚起について			
			4 複式簿記導入に備えて
			5 公共政策を考えることについて

12月定例会を傍聴しませんか

■手続きは簡単です■

定例会は、12月4日(金)に開会の予定です。
なお、一般質問は4日(金)、8日(火)の2日間を予定しています。

●お問い合わせは議会事務局へ
電話 35-1216 (直通)

3月定例会の一般質問は、2月下旬に町のホームページ・フェイスブック等に掲載しますので、ご確認ください。

編集後記

先日、町のゴルフ大会での賞品として上里地場産の野菜の箱詰めをいただきました。レタスとキュウリ、ミニトマトで野菜サラダ、里芋とぶなしめじはけんちん汁、ほうれん草はおひたしで、どれもこれも新鮮で最高の食材です。「俺って料理上手」と思える程の出来栄で、遠路、我が家に訪れた友人に食べてもらったところ「うまい、うまい」を連発、お酒を満面な笑顔で飲んでくれました。これほどおいしい食材が上里にはあることを語りながらの宴は、久しぶりに楽しい時間となりました。

皆様も地場野菜でおもてなしはいかがでしょう。

議会だより編集委員会

委員長	戸矢 隆光
副委員長	飯塚 賢治
委員	高橋 仁
委員	沓澤 幸子
委員	新井 實
委員	岩田 智教

